

企画セッション：W3D

高等教育機関におけるウイルス対策の取り組み

企画部会： ソフトウェアライセンス部会

オーガナイザー： 藤村直美（九州大学）

セッション：W3D 高等教育機関におけるウイルス対策の取り組み

目的 ウイルス対策ソフトウェアは個別に購入するよりも大学等で一括契約する方がはるかに安価になることを、九州大学で行なっているシマンテックの一括契約の実態で紹介する。さらにマイクロソフトの新しいOSに搭載されているウイルス対策の機能の紹介、トレンドマイクロのウイルス対策ソフトウェアの紹介などを行い、これらをベースにして、大学等におけるウイルス対策に関連する議論を行なう。

内容

話題提供として、以下の講演を実施（各 10～15 分程度）

- 1) 九州大学におけるウイルス対策ソフトウェア（SEP）の経緯と利用状況

藤村直美@九州大学情報統括本部長

- 2) ウイルスの変遷と System Center Endpoint Protection / Windows Defender による防御

蔵本 雄一@日本マイクロソフト株式会社 ビジネステクノロジー統括本部

現在、ウイルスは以前のような愉快犯とは異なり、機密情報や金銭を狙うツールとして変遷を遂げている。このセッションでは、現在のウイルスの傾向とその対策における弊社製品のメリットを解説する。

浜迫晋一@日本マイクロソフト株式会社パブリックセクター統括本部 文教本部

- 3) 昨今の IT における脅威とその対策（仮題）

馬場祐介@トレンドマイクロ株式会社 法人営業本部 首都圏営業部 首都圏営業第 2 グループ シニアスペシャリスト

事業継続性や企業の信頼を脅かす情報漏えいや Web 改ざんといったサイバー攻撃、セキュリティ事故が続発している。最新動向をお話するとともに、ビジネスリスクを最小化させるためにどのような対策が必要なのかを解説する。

これらの報告の後で、パネルディスカッション風に議論や意見交換を行なう予定である。